

科 目 名	病気を持つ子どもの看護			対象年次・時期	2学年
単 位 ・ 時 間	1単位	20時間	非常勤講師		後期
担 当 講 師 名					
科 目 目 標	病気や入院によりさまざまな状況におかれた子どもと家族への看護を理解できる。				
講 義 内 容 講 義 担 当 者	単元	次	内 容	担当者	学習方法
		1	1. 病気をもつ子どもと家族の看護 病気・障害が子どもと家族に与える影響 子どもの状況に特徴づけられる看護	非常勤講師	講義
		2	2. 急性期にある子どもと家族の看護 1) 急性期の子どもの特徴 2) 症状を示す子どもの看護 (発熱・痙攣・意識障害・呼吸困難・脱水等)	非常勤講師	講義
		3	2. 急性期にある子どもと家族の看護 1) 治療・検査・処置を受ける子どもの看護 (採血・検査時の看護) 2) 外来看護師と病棟看護師の連携 3) プレパレーション	非常勤講師	講義
		4	3. 周手術期の子どもと家族の看護 1) 周手術期の子どもの特徴 2) 術前・術中・術後の子どもと家族の看護	非常勤講師	講義
		5	3. 周手術期の子どもと家族の看護 1) 症状を示す子どもの看護 (痛み・苦痛) 2) 治療・検査・処置を受ける子どもの看護 (抑制・創外固定の看護)	非常勤講師	講義
		6	3. 周手術期の子どもと家族の看護 1) 手術室看護師と病棟看護師の連携 2) プレパレーション	非常勤講師	講義
		7	4. 慢性期にある子どもと家族の看護 1) 慢性期/リハビリ期の子どもの特徴 2) 慢性状態が子どもに与える影響	非常勤講師	講義
		8	4. 慢性期にある子どもと家族の看護 1) 年齢に見合ったセルフケア能力の育成 2) 治療・検査・処置を受ける子どもの看護 (骨髄穿刺・腰椎穿刺・ギブスの看護)	非常勤講師	講義
		9	4. 慢性期にある子どもと家族の看護 1) CLSとの連携 チーム医療 2) プレパレーション	非常勤講師	講義
		10	終講試験	非常勤講師	
テ キ ス ト	系統看護学講座 「小児臨床看護各論」医学書院				
使 用 教 材	パソコン プロジェクター				
履 修 上 の ア ド バ イ ス	子どもの成長・発達の特徴をおさえながら、症状のアセスメントや看護の方法を学んでいきましょう。疾患や症状・治療の事例を使いながら、各期の特徴を学んでいきます。「子どもと病気」の復習をして授業に臨みましょう。				
成 績 評 価	評価方法・配点	筆記試験 100点 主題1 10点 主題2 30点 主題3 30点 主題4 30点			
*合計点が成績評価となります。					

科 目 名	女性のライフサイクル各期の看護			対象年次・時期	2学年
単 位 ・ 時 間	1単位	20時間			前期
担 当 講 師 名	非常勤講師、教員				
科 目 目 標	生涯を通じた女性の健康支援における母性看護の役割を理解できる。				
講 義 内 容 講 義 担 当 者	単元	次	内 容	担当者	学習方法
		1	生涯を通じた女性の健康支援	家族計画・プレコンセプションケア 教員	演習
		2		性感染症とその予防 教員	演習
		3		HIVに感染した女性に関する看護 教員	演習
		4		人工妊娠中絶と看護 教員	演習
		5		喫煙と女性の健康 教員	演習
		6		性暴力を受けた女性に関する看護 教員	演習
		7		児童虐待と看護 教員	演習
		8		国際化社会と看護・LGBTQ 教員	演習
		9	出生前からのリプロダクティブヘルスケア	出生前診断を受ける人への看護 非常勤講師	講義
		10		生殖医療を受ける女性・パートナーへの看護 非常勤講師	講義
	テ キ ス ト	系統別看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① (医学書院) 系統別看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院)			
使 用 教 材	パソコン・プロジェクター				
履 修 上 の ア ド バ イ ス	1年次に履修した「女性のライフサイクル各期への理解」を基に、生涯を通じた女性の健康支援における母性看護の役割について考えましょう。リプロダクティブヘルスケアに関するテーマについてプロジェクト学習を用いて学習を深めます。				
成 績 評 価	評価方法・配点	パフォーマンス課題 100点			

科目名	子どもを産み育てる女性の看護 I			対象年次・時期	2学年	
単位・時間	1単位	30時間	非常勤講師		前期	
担当講師名						
科目目標	妊婦・産婦・褥婦及び新生児の生理的経過を理解できる。 母子とその家族が思い描く育児のための、切れ目ない支援について理解できる。					
講義内容 講義担当者	単元	次	内容		担当者	学習方法
		1	妊娠期の看護	妊娠の成立 周産期を取り巻く支援と制度	非常勤講師	講義
		2		妊娠期の正常な経過	非常勤講師	講義
		3		妊娠期のマイナートラブルと生活支援	非常勤講師	講義
		4		妊婦と家族の3側面の変化	非常勤講師	講義・演習
		5		妊婦健康診査（レオポルド触診法 子宮底長・腹囲測定）	非常勤講師	演習
		6	分娩期の看護	分娩の3要素（娩出力・産道・娩出物）	非常勤講師	講義
		7		分娩経過と胎児の健康状態（胎児心拍数聴取）	非常勤講師	講義
		8		分娩進行を促すケア 産痛緩和のケア	非常勤講師	演習
		9	新生児期の看護	出生直後の新生児の子宮外生活適応過程	非常勤講師	講義
		10		早期新生児の生理的变化	非常勤講師	講義
		11	産褥期の看護	退行性変化と支援 褥婦の心理的支援	非常勤講師	講義
		12		進行性変化と支援 授乳方法の選択	非常勤講師	講義
		13		退行性変化・進行性変化の観察とセルフケア支援 授乳支援	非常勤講師	演習
		14	周産期におけるリプロダクティブヘルスケア	新生児の生理的变化の観察と援助	非常勤講師	演習
	15		筆記試験	非常勤講師		
テキスト	系統看護学講座 専門 「母性看護学各論 母性看護学2」（医学書院） 写真でわかる母性看護技術アドバンス（インターメディカ）					
使用教材	PC・プロジェクター・スクリーン 妊婦体験ジャケット、周産期全身実習モデルはな、腹部触診モデル、メジャー、ドップラー 乳房マッサージモデル、腹部触診モデル 新生児モデル、新生児バイタルサインモデル					
履修上のアドバイス	妊婦・産婦・褥婦・新生児の生理的な経過及び援助について学習します。妊娠・分娩時の経過は産褥期・新生児の状態に大きく影響します。妊娠期、分娩期、新生児期、産褥期と積み重ねて、根拠に基づき、対象にとって必要な援助を考えられるようにしましょう。					
成績評価	評価方法・配点	筆記試験 100点				

科 目 名	子どもの理解			対象年次・時期	1学年	
単 位 ・ 時 間	1単位	30時間				
担 当 講 師 名	非常勤講師、教員					
科 目 目 標	子どもの権利を守り、小児看護の特徴が理解できる。 子どもの成長・発達と日常生活の援助について理解できる。					
講 義 内 容 講 義 担 当 者	単元	次	主 題	内 容	担当者	学習方法
		1	小児看護の特徴	子どもの健康 2) 小児看護の特徴・小児医療看護の変遷、小児看護の役割 3) 統計 4) 子どもの人権、インフォームドアセント	非常勤講師	講義
		2	子どもの成長・発達 と基本的日常生活の 支援	1) 成長・発達の原則 2) 形態的発達・発育の評価	非常勤講師	講義
		3	子どもの成長・発達 と基本的日常生活の 支援	新生児・乳児の成長・発達の基本的日常生活の支援 原始反射・免疫、発達理論	非常勤講師	講義
		4	子どもの成長・発達 と基本的日常生活の 支援	幼児の成長・発達、発達理論	非常勤講師	講義
		5	子どもの成長・発達 と基本的日常生活の 支援	幼児の基本的日常生活の支援	非常勤講師	講義、演習
		6	子どもの成長・発達 と基本的日常生活の 支援	1) 学童の成長・発達と基本的日常生活の支援 2) 思春期・青年期の成長・発達、発達理論	非常勤講師	講義
		7	子どもの成長・発達 と基本的日常生活の 支援	1) 子どもの安全・虐待と看護 2) 成長・発達に合わせた遊び	教員	講義
		8	子どもと家族を取り 巻く環境	子どもと家族を取り巻く環境	教員	講義
		9	子どもの成長・発達 と基本的日常生活の 支援	成長・発達に合わせた遊びの実際	教員	演習
		10	障害のある子どもの 持つ力を引き出す支 援	障害のある子どもの理解 特別支援教育	教員	講義
		11	障害のある子どもの 持つ力を引き出す支 援	体験者の講話	非常勤講師	講義
		12	障害のある子どもの 持つ力を引き出す支 援	特別支援学校見学実習（3時間）	教員	見学実習
		13	障害のある子どもの 持つ力を引き出す支 援	特別支援学校見学実習（3時間） まとめ	教員	見学実習
		14	予防接種	子どもの感染予防、予防接種	非常勤講師	講義
	15	終講試験		非常勤講師、 教員		
テ キ ス ト	系統看護学講座 「小児概論・小児臨床総論」 「小児臨床看護各論」 国民衛生の動向 小児看護技術アドバンス 小児看護領域の看護業務基準（日本看護協会）					
使 用 教 材	パソコン プロジェクター モデル人形					
履 修 上 の ア ド バ イ ス	自分の子どもの頃の写真を見直したり、家族と子どもの頃の話をするなどして、子どもをイメージしていきましょう。					
成 績 評 価	評価方法・配点	レポート 20点（第9回：10点、第10～13回：10点） 筆記試験 80点（1～6回：40点、7～10回：30点、14回 10点）				

科目名	子どもを産み育てる女性の看護Ⅱ			対象年次・時期	2学年	
単位・時間	1単位	30時間	非常勤講師、教員		前期	
担当講師名						
科目目標	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の異常と看護が理解できる。					
講義内容 講義担当者	単元	次	内 容		担当者	学習方法
	1	1	妊娠期の異常と看護	妊娠悪阻 妊娠糖尿病 妊娠高血圧症候群 常位胎盤早期剥離	非常勤講師	講義
	1	2	分娩期の異常と看護	前期破水・早期破水・遅延破水 胎児機能不全	非常勤講師	講義
	1	3		分娩遅延 分娩時異常出血 会陰裂傷	非常勤講師	講義
	1	4		帝王切開術で出産する産婦の看護	非常勤講師	講義
	1	5	産褥期の異常と看護	子宮復古不全 弛緩出血 乳房トラブル	非常勤講師	講義
	1	6	新生児の異常と看護	新生児における呼吸障害 高ビリルビン血症 新生児ビタミンK欠乏症	非常勤講師	講義
	1	7		死産・障害をもつ新生児を出産した産婦・家族への看護	非常勤講師	講義
	1	8		終講試験	非常勤講師	
	2	9	産婦・新生児の看護の実践過程	母子とその家族の育児に対する意思決定支援	教員	講義・グループワーク
	2	10		妊娠期・分娩期の経過と産婦・新生児への影響	教員	講義・グループワーク
	2	11		母子の3側面と日々の変化を捉える	教員	講義・グループワーク
	2	12		産婦の退行性変化・進行性変化に対する支援を考える	教員	講義・グループワーク
	2	13		産婦の心理・社会面に対する支援を考える	教員	講義・グループワーク
	2	14		新生児の生理的变化と支援を考える	教員	講義・グループワーク
2	15		母子と家族に必要な支援を考える	教員	講義・グループワーク	
テキスト	系統看護学講座 専門「母性看護学各論 母性看護学2」 (医学書院) 写真でわかる母性看護技術アドバンス (インターメディカ)					
使用教材	PC・プロジェクター・スクリーン 新生児バイタルサインモデル					
履修上のアドバイス	単元1では妊婦・産婦・産婦・新生児の異常時の看護について学習します。単元2では単元1と「子どもを産み育てる女性の看護Ⅰ」での学びを結びつけ、産婦及び新生児の経過を理解し対象がよりよい生活を送るための支援を考えましょう。					
成績評価	評価方法・配点	筆記試験 50点パフォーマンス評価 50点				
	この科目は単元別評価を行います。単元ごとに試験を行い各々6割以上で単位修得となります。 パフォーマンス課題の評価はルーブリックで行います。 パフォーマンス課題は指定された期日に課題が提出されない場合、評価対象となりません。					